

大阪1/2

No	ご意見・ご感想
1	BSE対策としては、SRMの除去で十分だと思います。WHOも認めている。日本が固執している全頭検査のコストは税金が使われ、多くの消費者が負担することになる。SRMの除去で十分な安全性が確保できることを考えると、全頭検査はどうしても無駄だと思われまます。私は焼肉が大好きなのですが、最近、非常に品切れも多いし、価格も上がりつつ感じまます。早く、輸入を再開して欲しいです。早く安く旨い牛肉が食べたいです。宜しくお願い致します。
2	質疑応答時間が少ないと思います。議論をし合って早く安全で安く、おいしい肉が食べられる事を希望します。日本経済の活性化という意味でも輸入再開をするのを強く望みます。
3	OSRMのピッシングの中止は作業員の安全を強調されたが、他の方法にする場合、国は食肉市場等への補助金・機械を新しくすることに対する予算は各市に出すだけの確保がされているのだろうか。国民の安全の為の予算確保を農水省に(各市に出す分)求めたい。
4	一般の消費者にも啓発して下さい(団体の力だけでは不十分です)。よい勉強になりました。ありがとうございました。
5	・リスクコミュニケーションのやり方に誤解がある。・リスクマネージメントに関する理解が誤っている。どの程度のリスクを考えているのか説明が十分でない。
6	国内産牛肉が安全に食べる事ができる理由がわかった。一方でその国産牛肉の値段が上がり、大金(税金)が注入されている事もわかった。これは個人責任が問われる現代と逆行していると思う。安全が100%確立されずとも、安いおいしい輸入肉や牛丼を食べれる日が早く来る事を望みます。
7	輸入全面禁止について、と畜検査員を資格化し、民間企業により、米国等へ派遣し、同等レベルの検査をする事により、輸入は可能なのではないか。
8	食肉業者として米国、カナダ産の輸入再開を早期実現して欲しい。基本は消費者の選択にゆだねるべきで、政府が管理することではない。本日の議論を聞いていても机上の空論と感じた。V. CJDの患者は出ても1人あるかないか、それで米国产をすべて止めるのはたった1ヶの地雷が恐くてサハラ砂漠に入れられないようなものだ。
9	〇〇委員の説明については、今回の主目的であるため、結論の部分を丁寧に説明すべきではないか？
10	全国統一された検査体制の確立に努力願いたい。
11	①司会はゼーゼー息がして聞きづらい。②女性の明確な声の人を希望。③場所は、アクセスの良い所をお願いしたい。
12	・大変不安に思っています。・食の安全、安心、食べることで、引き続き全頭検査を要望します。アメリカのBSE牛の輸入は反対します。・きちんと説明するという感じではなかった。機会を与えるというイメージで、誠意が少し感じられない。時間も足りない。・アメリカの言いなりになって欲しくない。
13	アンケート用紙の属性質問①②③は最後にもってくるのが常道である。
14	特定危険部位の除去を管理徹底できるのならば、一日も早い米国からの輸入を再開してほしい。
15	全体的にあわただしく、出席者に理解してもらおうという意志が感じられなかった。対外的な実績のためでなく、ゆとりをもって十分やってほしい。
16	・司会者が質問者の意図をうまくつかみとれずググハグな答弁であった。・BSEのリスクは極めて小さい。その小さい部分で安全、不安全の議論はあまり意味のないこと。他の食品リスク、例えばO157やサルモネラのリスクと比較して説明すれば、一般の人にわかりやすいのでは？
17	資料がよくまとめられており、講演がよく理解できた。
18	場所のイメージはつかめていて、子供達のスケジュール調整と合わせてしか出にくい母親として、前日まで申し込みOKにして下さりありがとうございました。しかし夜、参加証FAX頂いたが、インターネットで地図をみても中之島センターの表示が見つからず、見にくい地図で来た為、五十日と重なったせいか渋滞とあい重なり遅くなり、話が少ししかきかれず残念。国民からの税金を使う立場としては、効率のあまり認められない物についての費用出費は厳しいんだろうと思いました。癌の原因が様々なように、絶対はないといっても過言ではないでしょう。その中での24ヶ月以上という判断に変えたのは、仕方のないことかなと思いました。米国牛が入らないことで牛丼屋が潰れて経済の影響が出てるのは困りもの。以前から続いて、事があってから急な事なので、日本牛でまかなえないのかなと思っています。国の文化の違いの中で責任者は御苦労されていることと思います。今後の情報でより安心な方向への検討、期待しています。
19	私事の意見ですが、不作等であらゆるものの物価が上がっている中、長い期間をかけて対策方法を練ってきた牛肉ぐらいは、安く早く食べられるよう努力して欲しいと思います。

大阪2/2

No	ご意見・ご感想
20	質問に対して、答えられる部分は答えていただきましたが、「SRM除去が本当に完全か」「SRMのみの除去で危険は本当に99%程度になるのか、他の部位の除去は必要でないのか」など結局答えて頂けませんでした。司会の方は、答えられる質問がでるまで会場に対して意見を求めているのでは？と疑ってしまいました。この会に出席して不信感が募りました。ありがとうございました。
21	安全委員会が担うべき役割が十分果たせているかは不明だが、リスクコミへの姿勢には評価したいと思う。
22	屠畜場、飼料工場など現場の実体を、もっと詳細に農水省、厚労省とも把握しないと、法律との天きなズレを生じる恐れがある。
23	意見交換時の司会進行が非常にまずいと思います。答えやすい質問にしか答えていない。資料を読むのは、講演時だけで充分であると考えます。
24	意見交換会が行政の方針を宣伝する場にならないよう、特に講演内容に偏りを感じましたので、演者の選定、質疑の時間の割り振りなど公正に民主的に実施されたい。

神戸1/2

No	ご意見・ご感想
1	国内の安全対策の説明が殆どであったが、日米協議が始められた今は未国牛肉の安全性が問題です。それについて質問する時間は余り十分とられず、前回シリーズで再三説明された国内状況を反復説明されても、議論しようもないという感じがしました。BSEをめぐる国際情勢(欧州も含めて)の話をもっと聞きたい。
2	日本が実施する対策が国際的な規範となるのか？発生の危険度と対策の必要性をどう考えるのか。100万分の1以下の発生率(人間への感染は1億分の1以下)をどうとらえるか。色々対策を取った結果と言われるかもしれないが、どの程度まで対策を追求すべきなのか、今後どう判断されるかが興味深い。国内対策はわかる点もあるが、海外・輸入対応への対策の結論が見えない点もある。
3	1. 国内においてもSRM除去・飼料規制が完全となっていない時点での検査緩和には反対。2. 米農務長官から農水大臣への輸入解禁を求める書簡、米では米農務長官が輸入再開を発表している事など米側に片よった交渉と思われても仕方ない状況がある。3. 日本と同じ対応で輸入再開とすべき。
4	・意見・質問に対してその度に返答する様に司会者をお願いしたい。いくつもの意見の後にまとめて返答を聞いてもどの質問に対しての答えなのか理解しにくい場が度々あった。・司会者の声のヒビキが悪く聞こえない。
5	全国行脚お疲れさまです。今の情報満たんの時代、消費者も真(or否)の多くの知識をもっていると思います。これからも信憑性のある(政治がらみでない)情報知識を教えてください。
6	大変勉強になりました。今後の事業に役に立てたい。
7	と畜場でのSRM除去が食肉処理における管理要領に基づきキッチリとなされているかどうか不安である。と畜場におけるピッシングの中止については中止の取組みの指導を推進とあり、中止の方針で検討ということで問題先送りの感がある。
8	食の安全に対する取組みは非常に重要と考えます。しかしながらBSEによる人への感染(VCJD)が1人以下の中での費用対効果が適切かどうかの検証が必要である。安全という名のもとで過剰規制となり、あまりにもBSEを特別扱いしていると考えます。
9	リスクとしてとらえるという考え方を理解してもらうのはなかなか困難だという事がよくわかった。(そんなに心配なら食べないという選択もある事を言うのは、むずかしいんでしょうねえ…。思っても言えませんね…。でも一般消費者には選ぶ権利があるって事は理解して頂きたい)全国でこれだけの会場数開催しておられ、話も大変よく理解できた。国の意気込みを感じた。ただ、安心ということにあまりに神経質になり過ぎているように思う。安全だと国として言うなら、自治体にBSE全頭検査のため3年間補助金を出すことはかえって不安感を増大させる。
10	1. SRM除去において、EUのように腸をすべて除去すべき。「日本が最も厳しい…」との説明は事実に反する。2. EUよりの動物性油脂を原料にした「脂肪酸カルシウム」が大量に輸入され乳牛に与えられた。これについて一言も触れないのは何故か。3. ミーボンの農家段階での給与がなかったとして話を進めるのはどうか。北海道では常識。4. 相変わらず「くさいものにフタ」をする姿勢が変わらないのは残念。
11	◎行政として対策をしている事はわかりますが監視をきびしく。◎牛肉取扱いは収益を上げる為に、安全でないのがわかっているのにやっている面がある。◎BSE発生の農家の保護の徹底を強化してほしい。
12	食品安全委員会の科学的知見などの説明等については大変信頼しています。しかし、全頭検査を廃止するという方針が出てきた経緯で、21ヶ月齢のBSE牛が出現している中で何事も安全率を見込むことの多い中、21ヶ月以上で検査を実施というのはどうも納得いかないところがあります。むしろ、検出技術の向上に必死で取り組む方向性がうち出されることを期待しておりました。100%の安全を望むのは無理かもしれませんが、リスクの可能性は0をめざしてほしいというのが消費者心理ではないかと思えます。経済や政治によって検査体制が左右されているように感じられて仕方がありません。
13	こうした場所で聞けば良くわかるのに、どうして消費者の立場にもどると不安なのだろうか。原因は余りに不正を働く人が多いために不信感が大きいように思う。コミュニケーションをどう具体的に進めていくか、県と市が消費者とどう交流するかが大事だと考えます。
14	それぞれの利害が一致しないので、全頭検査の中止、米国からの輸入等での意見も一致しないであろう。全頭検査を導入したこと自体がまちがいであったと思う。今後には生かして欲しい。
15	会場内の空気が悪かった。

神戸2/2

No	ご意見・ご感想
16	アメリカと日本の食の安全に対する理解の差異は大きい。輸入牛肉の監視体制を充実する。
17	今日のような便利な場所で開催してほしい。
18	少人数でもっと深く意見交換できるような会を催してほしい。食品安全モニター会議の回数を増やして活用してもらいたい。
19	・BSE発生がなぜ日本ではホルスタインにのみ発生するのか疑問であった。・ホルスタインと黒毛のライフサイクルから異常プリオンの蓄積と月齢などを含めて理解できたように思う。・和牛は30歳ぐらいで食肉になるようだが、アメリカの食用牛は主に何歳のものが輸入されているのでしょうか。
20	BSEの発生で、これほど牛の検査をしてまで食する人間の1人である事が怖くなります。それでも日本の黒毛和牛は世界一おいしくて安全です。
21	開催方法ですが、手続き、場所、所要時間は問題ないのですが、遠くから来ている者にとって開始時間をもう少しはやくしていただきたかったと思います。

徳島1/1

No.	ご意見・ご感想
1	一般消費者にも食品安全委員会の取り組方をもっと知らせるべきです。
2	日本から米への肉の輸出について、対米輸出と畜場が有り施設基準、取扱い基準が非常に厳しく定められています。その例のように米からの対日輸出に関してもっと畜場の指定を行ない、対日輸出分については全頭検査をするようにすればどうでしょうか。
3	安全性の確保をより安心を得るため(消費者に)このようなリスクコミュニケーションの機会を増やすこと。
4	多くの人に参加しており意見も寄文、質問も有り、良いリスクコミュニケーションであった。
5	日本国内での検査に対しては完全であると思いますが、私達が心配しているのは、米国からの輸入に関する事。安全性に対して日本同等の検査内容にして戴き、消費者が安心出来る内容、20ヶ月迄の若全牛の証明が出来るかどうか？
6	食品に対して不安があったが講演、意見交換で安心感を持つ事が出来ました。この様な勉強会があれば知らせて欲しい。
7	日本では、全頭検査をしているが、アメリカ牛の輸入を規制緩和しかけているのでは、せっかく日本で検査をしている意味がない。政治が食の安全に口出しするのは、どうかと思う。
8	資料展示しての説明はよくわかったが、内容的にむずかしかった。
9	まだ少しわからない事がありましたが、この会で完全に近い程よくわかったので、これから人々に、この勉強をした事をお伝えしたいと思います。
10	トレーサビリティのシステムの確立を目指して、各方面で努力され、食の安全・安心の確保がされるのは良いが、国内の生産者の意欲をそぐようなことを願うとともに、国内に厳しく、外国に甘くというようなことのない施策をお願いしたい。
11	マイクを通した声が聞き取りにくかった。後ろの席でスライドは見えなかったが、資料があったのでわかりやすかった。
12	もう少し全体的に時間が多くあるとよかったと思う。場所をもっと良いところがあったのでは。
13	行政(国)と消費者をつなぐパイプ役として、今日のようなリスコミを数多く開催してほしい。
14	続けて食品の安全についてこのような会をもってほしい。
15	「安全である」との一貫した説明でしたが、それでもなお疑問に思ってしまうのはどうしてでしょうか？輸入再開が目的ではない旨の説明であっても、結局輸入するのですから。「専門的・科学的」を守って欲しいです。
16	・音声が良くない。・以前出席したものより面白くなかった。
17	「郵政民営化タウンミーティング」が徳島市で開催されましたが—会場がプリンスホテルですごかったです。それと比べれば、会場との意見の往復をしようという姿勢はよくわかりました。遺伝子組替の回答はちょっと…。
18	我が国民の食の安全安心獲得の為に、さらなる検討と努力お願い申し上げたい。
19	マイクの状態が悪かった。講演者が早口(持ち時間の関係もあるが)すぎる。消費者への安心、安全が一番大切であるのでテイネイな説明が必要と思う。
20	今後もつづけてほしい。

和歌山1/2

No	ご意見・ご感想
1	低価格で販売されている、ハンバーガーショップやコンビニエンスストアなどの加工肉の安全性について心配である。上記の肉加工品のBSE対策はできているのか、原産国は明瞭になっているとも思われない。将来のある子供が良く食べるので心配。
2	事前にほりこんだ質問を受付けておくべきでは。
3	◎コンタミ(コンタミネーション)etc専門用語がきになる。会場の人をみれば、一般の方も多いうにみうけられたので注意が必要です。◎例えば20ヶ月齢未満を検査する有無で問題になった時は検査しなくてもSRM完全除去されれば大丈夫といい、SRM除去の完全が問題の時は完全でないから検査しているといい、これでは困ります。◎「～というふうにきいています。」「～でお願いしています」ではきいていると、安心のラインは使ったが、それをしているかどうかは知りませんと聞こえます。これでは不安をあおりますので言葉を選んで下さい。
4	・国としてとった方針を変えるために、現実に殆んどない20か月以下をはずす意味はない。わずか数%を除くために信頼感も低め他の正常牛の消費が低迷したのではたまらない。大きな損失ではないか？
5	輸入食肉の再開に向けた検査の見直しと一般に考えられているものを否定出来なかった。今日の説明では！
6	・とても勉強になりました。・心配なのは肉骨粉等の飼料が心配ですと共に検査(日本における)方法にも不安！・時間が短かく感じましたので、もう一度、このような勉強会をしてほしいと思いました(有難うございました)。
7	感染源について、日本国内で発症した羊のスクレイピーから牛への感染の可能性はまったくないのでしょうか。また羊のスクレイピーへの対策等は実施されているのでしょうか。
8	・専門家等による講演は、時間に制約があることもあり、早口であった。もう少し時間をとるか、ゆっくり話した方が理解しやすいのではないかと。
9	子牛の輸入についての不安、遺伝子にBSE関連の情報はないのでしょうか？潜伏期の事を考えると、SRMの除去は主に水洗い？消毒薬？吸収されてからの処置にはならないのか？と殺時プリオンが散らばらないのか？病原体は細菌かウイルスか又別の物質が原因か？
10	若牛の検査、全頭検査は大変重要です。しかし一方研究機関とでもいいですか、もっと科学的に感染源の追求をして、何故発生するのかを解明してほしいと思う。日本人の死亡率が英国に比べて現在少ないのは、其は、BSEによるものが不明であったことと、さわがれた年からいえば、潜伏期間に達していないことも含まれると思う。
11	中間とりまとめでのリスク評価はよく理解できました。しかし、20カ月以下の牛が12%でしかないのであれば、どれくらい費用がかかるのでしょうか。20億円とか言われていましたが、国民1人当り、20円。やめることによる消費者の混乱(検査済とそうでない牛肉の流通)がおこり、ここに対する費用であったり、業者さんへの打撃が大きいのではないかと。
12	説明が早すぎわかりにくい所もあるが、少々安心できる様になりました。
13	良い所ばかりでもう少しこの様な場所に参加しない人にもわかりやすい用な言葉を使って*きたかったと思います。
14	外国産牛はまだまだ不安です。
15	スライドの説明のみで全く資料と一緒に。もう少し70才過ぎていても勉強することが大好きなれど、帰ればしっかり読んでみなくてはならないわ。
16	農水省、厚生労働省、消費安全、食品安全、役割分担が不明。肉牛の肥育の部分、国産中流通の部分。
17	回りの人達に聞くと、かなり遠方から見えている方がおられます。皆さんの関心の高さを思いました。出来れば、多少の交通費が出ればと思いました。
18	BSE対策として検査とSRM除去、飼料規制が3本柱であることはよく判ったがもう少し簡明な説明の方が聞き易い理解も進むのではないかと。夫々について簡単且つ具体的な説明を希望します。
19	一般消費者として、新聞紙上でよく外国産、国内産の入れ替え、小売店での差し替えが、たびたびとりただされている中で、消費者が安心して購入できる体制といえますか、生産者・販売者・消費者が互いに信頼出来る社会が欲しいですね！！

和歌山2/2

No	ご意見・ご感想
20	国内産牛と表示されて売られていますが、子牛で輸入されて国内で育てられているのは本当に安心出来るかどうか心配であります。私は輸入牛は買っていません。交差汚染を徹底して防止していただきたいです。今は骨粉を飼料としていないので安全とお答えありましたが、今だ原因不明であるのではないのでしょうか。
21	安心と安全の違い。消費者には安全を守って欲しい。表示は国を上げて統一基準を作るべきだと思う。
22	イギリスやアメリカ等がBSEの為輸入禁止中だが、現在オーストラリアから輸入しているが大丈夫なのだろうか？又、アジアの方は余り出ていないがBSEは大丈夫なのだろうか…ふと感じた。
23	意見交換の時間は少し少ないです。
24	20月以下の検査について、アメリカからの輸入圧力に伴う国内産の対応と思える。
25	食品に関するリスク・コミュニケーションに参加してとてもよかった。又、今後も食品安全の交換会に参加したく思っています。
26	日頃あまり肉を食べません。一般に安全でないとの前提で、どうしても必要なときは安全でないことを覚悟で必要最小限にとどめています。食べる、食べないの選択は自己責任で…肉だけの問題ではないものですから…。
27	資料(スライド)を読むだけで、説明会になっていない。受講する方を考慮してないと思う。誰と意見交換をするのでしょうか。消費者向けと言うより一部関係者向けの講演に思えました。会議の目的と声をかける範囲、対象のミスマッチがあるように思います。
28	関係する各省庁の担当方の説明でモヤモヤとしたBSEについて或る程度整理できたようですが、これからの学習の道筋ができたように思います。
29	食の安全は命の安全故、慎重に検討して欲しいと思います。
30	検査対象月齢が21ヶ月齢以上で答申されれば、日本全国一斉に21ヶ月齢以上の検査に切り替えるべき。政治的な判断で補助金などを継続させるべきでない。科学的評価に政治的判断を入れるとリスクアナリシスは成り立たなくなる！

奈良1/2

No.	ご意見・ご感想
1	農水省の飼料規制ががんばっているのがよくわかりました。ゼロリスクはないんだといいながら、根絶をめざしているんですね。がんばって下さい。飼料における肉骨粉の必要性とかはなかったんでしょうか。いい肉骨粉は使えるようになる方がいいのでは。
2	早く輸入を再開して欲しい。年末になれば需要が増加し、ますます価格も上昇すると思います。理屈抜きで、とにかく安く旨い牛肉が食べたい。
3	・委員長の声が小さくて聞こえなかった。・意見交換会開催の広報不足。
4	厚生労働省、農林水産省、内閣府等、各省庁がもっと密に連絡を取り合い、互いに協力し合っていてほしい。
5	時間が短すぎる。
6	食品安全委員会の方が来られるという事で、参加しました。有意義な時間だったと思います。前もって質問事項を提出しておくのはよい方法だと思います。
7	①司会者はおどおどしない！！
8	私はインターネットをあまり見ません。だから、今回のことも友だちに教えてもらうまで知りませんでした(お肉が好きな専業主婦です)。FAXを送ってもらって、子供にインターネットで画面を出してもらってやっと申し込めました。奈良市で行うのなら奈良の市報や、目につくところで知らせてもらえると知りたい人がいっぱい来れるのに、今回参加されている方は、どこかの団体に入っている人が知っているだけなのかも思いました。もっとたくさんの人に、開催のお知らせがわかりやすいと良いですね。
9	SRM除去を徹底させて下さい。
10	・アメリカからの輸入については、情報がはっきりしないと思うので、はっきりわかってから(検査・肥育体制など)輸入を開始してほしい。・除去部位の範囲を拡げてほしい。
11	Q・Aの資料のなかで、消費者の不安をあおるような報道がなされ、云々とありますが、消費者はあおられてばかりはいませんよ。ちゃんと問題点を見ています。まるで、報道が悪いような言い方は変です。私達は今の報道では物足りないと思っていますのですから。
12	食品はすべてゼロリスクではないというのは理解できますが、リスクの程度がどの程度なのかということについてもう少しわかりやすくお話いただければと思います。
13	参加手続きは、インターネット・FAXが使えて良かったですが、意見交換会が開催される事を、もっと、広報してもらいたかったです。私は生協活動に参加していたため、ある事を知りましたが、参加したい人、意見をいいたい人はもっとたくさんいるように思います。
14	前回、大阪開催に参加しました。その時より、厚生労働省、農林水産省の最近の見解が聞けてよかったです。今後とも国民にわかりやすい意見交換をお願いします。
15	現状に関しての概略は、わかりましたが、では、今後の対策、SRM除去の生存牛に対するCheckの仕方、数値の活かし方などあれば教えてもらいたい。
16	この公聴会は国内の安全対策のためと言われていますが米国輸入牛に直接関係していくと思ってます。慎重に対応をお願いします。
17	・肉の安全、安心は当面不可能なのかと思う。・輸入肉を全頭検査済国内産肉との流通過程での分離、消費者が購入する時に判明出来るよう措置を取ってほしい。・第3国経由の輸入肉のチェック体制の強化を望む。
18	うもれた声も多いと思います。質問への解答をベースに消化していただいたほうがしぼられた中身になったように思います。
19	中味がたくさんでかけ足の感があった。もう少しゆっくりできればよかったですと思います。理解は深まりました。100%安全はありえないことは認しきしている。
20	①検査法の研究をすすめてほしい。②SRM除去や飼料規制の徹底が大事なことは分ったがやりきることができるのか？ここが消費者としては不安な材料である。
21	充実した内容なので、もう少しゆっくり話していただけた方がより理解できたと思います。飼料原料の規制の図はとてもよくわかりました。0リスクはないという考え方において20ヶ月月齢以下は検査しないことについては理解できます。SRM除去、20ヶ月月齢以上検査、飼料原料の安全性がどれがかけても安全性が確保されないの、しっかり検査できる体制をお願いします。

奈良2/2

No.	ご意見・ご感想
22	・時間が少ないのはしかたがないと思いますが、やはり少ない。・こういう場は今後とも重要。ぜひよろしくお願ひしたい。
23	3年以内にSRM除去の徹底をはかってください！全国のと畜場のレベルアップを(財政支援含め)20ヶ月齢に関する簡単な説明の仕方は「検出むずかしいし、微量で心配ない。たまたま21ヶ月、23ヶ月でひっかかったけれど…。でもSRM除去ができてるから大丈夫よ!？」ということでしょうか？安全委員会のご奮闘が安心につながりますが受けとめる農水・厚労が政治的にゆらぐことないように！

鳥取1/2

No.	ご意見・ご感想
1	理解が深まった。
2	・参加の手続きがめんどうで一般消費者が気軽に入れないのではないか。・話はわかりやすかったので、なおさら一般消費者に多く参加してもらえればと思う。
3	・行政としての取り組みだけではなく、専門家(研究者)の講義も聞きたかった。時間的なこともあり難しいとは思いますが、とてもわかりやすい内容ではあったが、安全性のみをPRした表面的な説明だと感じた。「危険性」の観点からの説明、英国の状況をもっと知りたい。・個人的には、日本の発生率は限りなく0に近いので、牛肉の処理(危険部位除去など)をすれば、BSE検査はほとんど必要ないと感じた。国民の「安心」を得ることが、最も困難。・アメリカからの牛肉輸入再開へ向けての準備のための意見交換会とも受けとった。
4	消費者に対して食品のリスクについての説明をわかりやすく繰り返す必要がある。また学校教育の中に取り入れる必要があるのではないか。消費者の大多数は安全な食品とはリスクゼロとの思い込みが強いのではないか。
5	消費者(利用者)への“食”に対する意識の向上、特に輸入材の危険性を伝えていただきたいと存じます。
6	⑥の設問はどうだろうか。BSEのように新たに加わったリスクについては根絶できると思うが(ex. 検査にひっかからない20ヶ月以下を食用としない等)、なぜ食用としてリスクを抱えるのか理解に苦しむ。
7	◎質問も多く有意義なものが多く、意見交換会は交換がもてた。◎地方での公開議論を願いたい。
8	安全を考える上で大事な①がSRM除去で②がBSE検査だと言われましたが、今、私達消費者が不安なのは、食品安全委員会の答申とアメリカ産牛肉輸入再開の動きがあまりにもタイミングが良く出されたからです。私たち消費者は安心・安全な牛肉を食べたいのであり、今の状態での米産牛肉輸入再開はやめて欲しい。厚生労働省は上記の①、②について安全性が徹底される様にアメリカに強く要求をして欲しい。
9	食事を作る者として、全頭検査されているということは、消費者の手もとに入る時に表示なり検査されていることがわかるようにすべてになっているのか?国民がどれだけ理解して表示してある物に対して安全かどうか考えられるように示してほしい(全国)。
10	やはり専門用語がたくさん出て来て(特に意見交換の時)、関係者の方々のためのリスクコミュニケーションに思えた。実際に肉を買って料理をする主婦が参加しやすい会にはならないでしょうか。小学校や中学校のPTAからだけ参加者を募集する等、考えてもらえないでしょうか。
11	・食品安全委員会が早い時期から科学的な検査を積み上げておられたことは評価したいと思います。今後もこの真剣な集中力を失うことなく検討され、正しい評価を一般の国民に広く伝えて頂くよう努力してください。・いくら良い対策が決まっても末端まで(20ヶ月と半月とかいって)徹底しなければ、流通ルートがいいかげんになりぐりぬけて乱れて、消費者は何かわからない輸入のものを食べるという事態は必至です。全頭検査はとても大切な法律上の規制とっています。アメリカにもこの意向で検査を要求してください。・SRMの除去の方が大切ということです。この徹底をお願いします。
12	時間不足であった。場所は県の中心地(倉吉)で催してほしかった。「20ヶ月以前の牛について、全頭検査から除外」の方針については納得しました(検査には限界があるということ)。米国産牛肉の輸入再開のために「中間まとめ」が行なわれたのではないかと疑問をもっていました。不安をかかえた状態での輸入再開はしてほしくありません。
13	時間不足!!1日たっぷりかけてやるべきだった!!
14	資料及び説明が多すぎ、早すぎ。質疑にはわかり易く回答していただいた。
15	日米協議の内容とか、月齢見直し等について、もっと本音のことが聞きたかった。
16	・日本では肉骨粉の使用はいつ頃から与えられたのですか?・危険部位を処理した灰については?・今までやってきた通りの検査方法で日本はこの先通してもらいたい。・なぜこの時期に「食品にー」を開催されるのか。アメリカ牛の輸入再開の為に?・出席者に専門分野の方が多かったように思います。一般消費者の意見は必要ないですか?
17	・安全基準が不明確(⑥について)。・SRM除去の評価基準・作業工程を明確にして、牛肉自体の安全性を強調し、消費者に何をもって安全かを普及すべきである。・SRM除去、BSE検査の2本立が原則。

鳥取2/2

No.	ご意見・ご感想
18	意見を聞いて検討するとか調査するという姿勢が感じられなかった。中間とりまとめの内容を繰り返しているだけのよう な説明で不十分さを感じた。中間まとめに対し、国民が不十分さを感じ不満であることをきちんと受けとめるべきである。
19	本趣旨の開催はとてもよいと思います。
20	ホルスタイン種で発生して和牛で発生してない現状について今後知りたい。
21	講師の時間配分、話の量の再考。
22	消費者の安全・安心のため全頭検査を継続のこと。また、輸入牛肉に関しても日本と同様全頭検査、危険部位除去を厳 守させること。
23	SRM除去が安全性を保障するというのを、より周知させるべき。現在は検査が前面に出ているきらいがある。
24	質問等の時間が短い。
25	司会が中立的でよかった。BSEに限らず、このような会が必要ではないでしょうか。
26	1.BSEの現状と対策について理解できました。今後も継続してこのような会を催してほしい。2. 平日にもかかわらず多く の人の参加があることに少し驚きました。一般の市民、消費者に対して休日の会であれば一層の参加があり、多様な意 見も出されるのではないかと思います。
27	US産牛肉再開に向けた消化試合という感じを受けた。
28	現在和牛にBSEが発生していないが、偶然か？
29	いつでも誰でもどこでも安心して口に出来るお肉を。弱者である子供達の給食も心配であるので、偽装表示に気をつ けて下さい。
30	消費者の考えは多様化しています。米国の現在の飼養状況であっても輸入再開を求める消費者もいれば、ヒステリック に「全頭検査」「安心」を連呼する消費者もいます。いくら説明しても「1億人分の1」「10億人分の1」のリスクを問題にす る消費者もいます。最終的には、消費者の選択にゆだねるべきです。そのための情報公開には努めていただきたい。
31	早く輸入を再開してほしい。